

区部周辺部環状公共交通の実現に向けての要望書

環状七号線、環状八号線沿線を鉄道で結ぶメトロセブン構想、エイトライナー構想は、平成12年1月の運輸政策審議会答申第18号において、両構想をあわせた「区部周辺部環状公共交通」（葛西臨海公園～赤羽～田園調布～羽田空港方面）として、「今後整備について検討すべき路線」と位置づけられました。

この答申を受け、環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会・エイトライナー促進協議会は東京都と共に区部周辺部環状公共交通都区連絡会を設立し、協働で諸課題を検討してまいりました。

都心から放射状に伸びる32路線25駅を結節・短絡する本路線の整備は、環状方向の移動利便性や速達性の向上に資し、東京で暮らす人や訪れる人全てがその利益を享受することができます。また、沿線のさまざまな観光資源を有効に活用するなど、東京の質の向上が図られます。さらに、既存路線と計画されている新空港線に接続することで羽田空港へのアクセスが確保され、国際都市東京への発展や環状メガロポリス構造の実現にも寄与します。加えて、大規模災害時等には、本路線がさまざまな既存鉄軌道の代替路線となり得ることから、沿線のみならず東京圏全体の都市機能が大幅に強化されるなど、整備効果が非常に高い路線であります。

厳しい財政状況や輸送需要の変化など、新たな鉄道整備には多くの課題があることは認識しておりますが、両協議会は、関係9区550万区民の強い願望である構想実現のため、今後とも精力的に取り組んでまいり所存です。

つきましては、貴台におかれましても、何卒ご賢察のうえ、交通政策審議会の次期答申において、「区部周辺部環状公共交通」が明確に位置づけられるよう、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年 3月23日

国土交通大臣 太田昭宏 殿

環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会

会長 江戸川区長 多田正 見



葛飾区長 青木克徳
足立区長 近藤やよい

エイトライナー促進協議会

会長 世田谷区長 保坂展 人



大田区長 松原忠義
杉並区長 田中良
練馬区長 前川燿男
板橋区長 坂本健
北区長 花川與惣太